



千葉労働局発表
平成 29 年 3 月 3 日



【照会先】

千葉労働局 労働基準部 健康安全課
課長 遠藤 光
課長補佐 北村 明典
電話 043-221-4312

なくそう死亡労働災害！

～急増する死亡労働災害ストップに向けた集中的取組み～

千葉労働局（局長 福澤 義行）は、今世紀に入って最悪のペースで始まり、現在もなお急増する県内の死亡労働災害を重視し、労働災害防止団体等の参加を得て「なくそう死亡災害！運動ちば 2017」として集中的な取組みを行います。このため、主唱者の代表による実行委員会を平成 29 年 2 月 22 日に開催し、県内 8 か所の労働基準監督署による労働災害多発事業場に対する集中監督の実施や調査、指導の徹底はもとより、各団体と協働した安全パトロールの実施、経営者団体・業界団体への働きかけ、各種の研修会や周知・広報活動等を平成 29 年 3 月 1 日から平成 30 年 1 月 15 日までの間に強力に行うこと等を決定しました。



実行委員会写真

千葉県内では、本年に入り、1 月に労働災害により死亡された方が 8 人となっており、平成 13 年（2001 年）以降では最悪のペースで始まり 2 月末日現在でも 11 人と高水準で推移しています。死亡労働災害はもとよりあってはならないものですが、本年は、年間の死亡労働災害を平成 24 年比で 15%以上減少させることを目標（注：30 人以下）とした第 12 次労働災害防止計画の最終年にあたっており、事態の打開のむけて強力な対策の展開が必要と判断したものです。

1、実施期間

平成 29 年 3 月 1 日から 30 年 1 月 15 日

2、主唱者

千葉労働局、管下各労働基準監督署
労働災害防止団体等

3、実施事項

別紙実施要綱のとおり

4、参考資料等

「なくそう死亡災害！運動ちば 2017」実施要綱

平成 28 年 業種別死亡災害発生状況及び業種別労働災害発生状況（1 月末日現在）

平成 29 年 業種別死亡災害発生状況及び発生状況（2 月末日現在）

参考 第 12 次労働災害防止計画（千葉局版）について

平成29年業種別死亡災害発生状況

(平成29年2月28日現在)

千葉労働局

		平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成28年 同 期	平成29年 H29.2.28	対 同 期 増 減	増 減 率 %
製 造 業	食料品製造業	1		1					
	繊維・繊維製品製造業								
	木材・木製品・家具製造業		1						
	紙製造・印刷製本業								
	化学工業	5	1	1	1				
	窯業・土石製品製造業		1						
	鉄鋼・非鉄金属製造業	1	2	2	3				
	金属製品製造業		1	3	3				
	一般機械器具製造業						2	2	
	電気機械器具製造業								
	輸送用機械器具製造業	1		2					
	電気・ガス・水道業		1						
	その他の製造業	1	3	1					
	小 計	9	10	10	7		2	2	
鉱 業		1	1				1	1	
建 設 業	土木工事業	2	5	7	3		2	2	
	建築工事業 (木造家屋建設業／内数)	11 (2)	11 (2)	5	3				
	その他の建設業	4	9	3	6	1		-1	-100.0
	小 計	17	25	15	12	1	2	1	100.0
運 取 扱 貨 物 業	運輸交通業			1			1	1	
	陸上貨物運送業	9	4	3	6		1	1	
	港湾荷役業		2		1				
	小 計	9	6	4	7		2	2	
林 業									
漁 業									
そ の 他 の 事 業	卸売業	2					1	1	
	小売業	1	3		1				
	医療保健業		1	1					
	ビルメンテナンス業			1	1				
	旅館業								
	飲食店								
	ゴルフ場の事業						1	1	
	清掃・と畜業	1	3	2					
	上記以外の事業	8	4	5	7		2	2	
小 計	12	11	9	9		4	4		
合 計	48	53	38	35	1	11	10	1000.0	

- ※ 1. 毎年の確定は翌年3月末日(年度末)とする。
 【平成29年分は平成30年3月31日をもって確定とする】
 2. 陸上貨物運送業には道路貨物運送業および陸上貨物取扱業を含む。
 3. 平成29年1月31日の数値は1月31日までに報告があったもの。

平成29年死亡災害発生状況

千葉労働局健康安全課
(平成29年2月28日現在)

番号	災害発生年月日	業種	事故の型	起因物	災害の概要
1	平成29年 1月 5日	バス業	飛来、落下	立木等	敷地の造成を行うために、被災者がチェーンソーを使用して樹高約10メートルの樹木の伐木作業を行っていたところ、伐倒した樹木と近傍の樹木との間につが巻き付いており、伐倒に伴い、当該近傍の樹木が高さ6.8メートルの箇所まで折れ、被災者に直撃した。
2	平成29年 1月 7日	ゴルフ場	おぼれ	水	ゴルフ練習場の池にある人工島で、利用者が打ち放ったゴルフボールの回収作業を単独で行っていた被災労働者が、人工島に渡るため自ら航行して人工島に接岸させていたボートが岸から離れてしまったため池に入り泳いでボートを追いかけていったところ、人工島から約20mの付近で水中に沈み姿が見えなくなった。
3	平成29年 1月10日	その他の事業	交通事故(道路)	トラック	出張のため、自宅から高速バスの停留所に向かい横断歩道を歩行中、交差点を右折してきたトラックと接触した。
4	平成29年 1月12日	上下水道工事業	激突	掘削用機械	推進工法による下水道管設置工事において、深さ約6m、直径3.5mの到達立抗内で既設下水道管の解体作業を行っていた。既設下水道管の下面部分をクラムシェルで地上に引き上げようとしたが、持ち上がらなかったため、クラムシェルのアームを左右に振ったところ、バケットの爪がはずれ、その反動で振り子のように振れたバケット部が被災者の頭部に激突した。
5	平成29年 1月21日	その他の卸売業	激突され	フォークリフト	舗装工事用振動ローラー(重量580Kg)にチェーンを掛けフォークリフト(2.5t)でつり上げ、走行してコンテナ内に積み込もうとしていた。同僚が運転するフォークリフトを被災者が誘導していたところ、フォークリフトに激突され、フォークリフトのマストとコンテナ入口の内壁の間に頭部を挟まれた。
6	平成29年 1月24日	農業	はさまれ、巻き込まれ	混合機、粉碎機	被災者は、苗用の土の製造工程において、翌日に行う他品種の土の製造に備えるため、機械を停止し、ほうきを使用してコンベア部等の掃除を行っていた。清掃作業終了後、被災者は機械を起動させたが、シャフト部周辺に除去出来ない土を発見したことから、これを手でかき落とそうとしたが、シャフト部に直角に9cm間隔で設置されているスクリーに右上腕が巻き込まれた。
7	平成29年 1月25日	一般貨物自動車運送業	交通事故(道路)	トラック	同僚がトラック事故を起こしたため、被災者は事故現場へ駆けつけた。被災者は乗用車を路肩に止め、外に出ていたところ、後方から来た大型トラックが同僚のトラックに追突した。押し出された当該トラックに被災者がはねられ、右肺破裂で死亡した。
8	平成29年 1月26日	その他の土木工事業	飛来、落下	立木等	樹木の剪定作業を行うため、伐採しようとする木の一部にロープを固定して2トントラックにつなぎ、被災者は高所作業車に乗り、高さ約3.5メートルの箇所までチェーンソーを用いて幹を切断し、同僚が同トラックを運転して木を引っ張って倒そうとしたところ、切り落とした木が被災者に落下したものの。
9※1	平成29年 2月17日	機械器具製造業	爆発	その他の装置、設備	工場内のブース作業場において、アルミニウム粉を含有した塗装作業を行っていたところ、ブース内で爆発が発生し、労働者3名が被災した。 ブース内にいた1名とブース外にいた1名が広範囲熱傷のため死亡し、ブース外にいたもう1名は全身火傷の重症となったもの。
10	平成29年 2月18日	砂利採取業	墜落、転落	コンベア	ベルトコンベヤーのチェーンが弛んでいたため、コンベヤーを停止させてチェーンの張り調整作業を3名で行っていた。 被災者がベルトコンベヤーのベルトに上り(地上約7m)、ボルトの締め付け作業をしていたところ、バランスを崩す等により手すりの無い側から地面に墜落した。

※1 被災者3名のうち、2名が死亡。